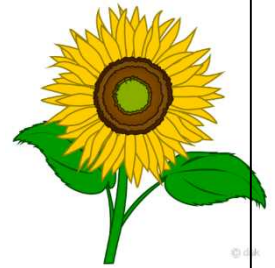


Finding You!

市立札幌開成中等教育学校 充実期6,7期生 通信
発行:令和2年7月29日 水曜日

No.3



学校が再開して…

昨年の今頃は学校祭が終わり、夏休みに向けて心と頭をクールダウンしていましたね。夏休みには家族や友人と様々な思い出を作ったり、もちろん一人でゆっくりとくつろいでいた人もいるでしょう。そして、思うようにいかなかった夏休みを後悔しながらも、「来年は頑張ろう」と、同じ夏休みが来ることを誰もが疑わなかったことと思います。

2月26日の朝、風邪症状があった生徒の皆さんには早退をしてもらいました。その翌日の27日には当時の3年1組の生徒の半数以上である23名が欠席をしました。新型コロナウイルスの猛威が、私たちの日常生活に足を踏み入れてきました。

それから今日までの約5ヶ月間、目まぐるしい変化が私たちの生活だけでなく、世界にまで及んだことは言うまでもないことです。誰もが直面したことのない問題に、私たちは悩み苦しみながらも、何とかウイルスとの共存を果たすべく、様々な工夫を持ってこの地球的な危機を乗り越えようとしています。

6月、2週間に及ぶ分散登校からはじまり、約2ヶ月が経とうとしています。とても2ヶ月とは思えない濃密な時間を日々、先生達は感じています。皆さんはこの2ヶ月をどのように感じていますか。休校前の自分、休校期間中の自分、学校再開後の自分、そして今の自分。どんな変化がありますか。学校は皆さんにとってどのような存在となっているのでしょうか。

「学校は本当に必要なのか」こんな議論がこのコロナ期間で目にするのが随分と増えました。オンライン授業に対応できていない学校は様々なメディアやコメンテーターから非難の対象となっていた時期もありました。その時、私が後悔していたことは「学校がいつまでも存在して、生徒は変わらず学ぶことができる」と信じていたことです。このコロナ休校期間での気づきは「**学校という場がなくても、生徒が変わらず、自ら学び続けることができる力を身に付ける**」ということです。「オンラインで学びを届けなれば、学校がなければ、子供たちの学びが止まってしまう」という世間の認識そのものを変えていかなければいけない、と今は思っています。

コロナによる休校だけの話をしているわけではありません。**私たちの学びは永遠です**。学校を離れてから学ぶことの方が圧倒的に多いのです。学校で教わる、学ぶだけが、「皆さんの学び」ではありません。どのような環境であっても、自己を振り返り、必要な学びを自ら選択し、実行できる力をしっかりと身につけていきましょう。学校にはそのお手伝いをする先生たちがいます。そして支え合う仲間がいます。共に成長をしましょう。(充実期主任 黒井)

6月からの生徒の活動

3年生

学校が再開してすぐに担任との面談を行いました。その中で、多くの生徒が休業明けの学習内容や進度に関しての不安を口にしていました。また対照的に、休業中、好きな教科に時間をかけて勉強できたことで学習意欲が高まり、早く授業を受けたい！という生徒も見受けられました。そこで、3年生は6/23～7/3をStudy Week（勉強応援週間）として、放課後、希望生徒に学習支援を行うという試みをしました。一番人気は化学で、10人以上が参加する日もありました。3年生になり、理科については急に難しくなるので、わからないことはこのようにすぐに解決して、楽しく乗り越えてくれればよいなと思っています。また、数学はSAの一環として4年生の先輩4人が先生役になって教えてくれました。先輩の経験談なども聞いて大変有意義な時間だったと思います。Study Weekについては、今後も機会を見て継続していく予定です。

LHRの時間では、「教えて！先輩！」と銘打って、IPコース、DPコースの説明と5～6年生の先輩からのメッセージが届けられましたが、実際にそのコースで勉強している先輩たちの進路や授業の様子などの生の声とあって、生徒たちは本当に真剣に聞き入っていました。またその中には、MYPの授業が今どの



ように活きているか、部活との両立はどうやっていたか、発展期までにどんなことを準備しておけばいいか、など今から取り組めるヒントもありました。10月には4年次での科目選択のためのガイダンスも予定していますが、進路を考えるきっかけになることを期待しています。コスモプロジェクトでは、SAの準備をしています。昨年の練習段階から今年は本格的により公共性の高いものへとテーマが発展しています。残念なことにコロナの影響で、直接的に働きかける活動ではなく、間接的なものになっていますが、取り組み状況は夏休み中にご家庭で、休み明けにはチームで発表することになっていますのでぜひアドバイスをお願いします。（充実期副主任 佐藤）

4年次

MYP集大成となるパーソナルプロジェクト（以下PP）をコスモプロジェクトの時間で行っています。PPは調査・計画・行動・振り返りの流れで行われ、それぞれの項目が評価をされます。現在は調査段階を終えて、計画・行動に向けて活動をしています。夏休みの2週間を使い、しっかりと行動し、探究の振り返りが求められます。忙しい夏休みとなりますが、各生徒が自身の興味関心に応じたテーマを設定して活動をしています。保護者の皆様はぜひ、お子様の探究テーマについてお話してみてください。

LHRでは5年次における科目選択を中心に進路について考えました。担任との面談をとおして少しずつ自分の進路を考えています。進路は一人で考えても行きづまる一方です。たくさんの人と話をしながら少しずつぼんやりしていることが見えるようになってきます。教員だけでなく身近な大人（兄弟・家族・親戚など）と進路について話し合ってみてください。

17日は、4年生が昨年の後期に先輩と一緒に進めていた探究活動の成果発表を3年生に行いました。今年度は4年生が中心となって、3年生と一緒に合同研究を進めていきます。どんな探究をしていくか、今から楽しみです。（充実期4年担任 高松）

